



**ARAI Tsuyoshi**

新井 豪さん  
JTB 旅行事業本部

あらい つよし 1997年にJTB入社。前橋支店で法人営業に携わった後、2007年2月より旅行事業本部の営業企画チームに。グループ全体にわたる営業政策などを手がける。趣味は旅。最新型VWジェッタに乗り夫婦で温泉にドライブするのが、とりわけ好きだとか。「クルマでの旅のよさは、自分たちだけというプライベートな空間と、途中気になるところがあれば気楽に立ち寄れる自由性」という

「2008年度のドラ旅の企画は全国を対象に考えています」と話す新井豪さん

**旅に行くドライバーたちの味方です**

たとえば7700円の高速料金がなんと2500円に  
話題の「ドラ旅」はETC利用で大きな割引が受けられます

「ドラ旅」なる商品が、自動車で旅に行くひとに人気だ。これは旅行会社の最大手、JTBの企画。「ドライブ旅行」の略で、ETCを使用することで高速道路の料金が割引になり、おみやげなどの特典がつき、宿泊施設や観光地の割引チケットも購入できるというもの。

「昨年の秋、浜名湖周遊という商品を出した際は、1000台の見込みに対して160パーセントの約1600台の申し込みをいただきました」

そう語るの、この企画の立案にたずさわったJTBの新井豪さん。

「お客様のETCの番号で登録をしていただきます。そうすれば、たとえば御殿場ICから浜松西ICまで、通常、往復で7700円の高速代が2500円になります。しかも浜松、浜松西、三ヶ日を周遊エリアとして、その3つのIC間は連続する2日間は乗り降り自由。かなりの割引だったと思います」

それだけではなく、三ヶ日みかん一箱、ガソリン1000円券、湯めぐりバスポートなどおまけまでつけた。用意したドライブマップも充実。「7大特典はお車を利用しなくてももらえるよ。でも車でない後悔しちゃう……」とパンフレットに入れた惹句はあながち誇張ではないのだ。

いたれり尽くせりだが、じつはドライバーを対象にした旅行企画は過去になかったとか。「旅行に行く際、自動車で、というお客さまが半数以上というデータはありました。なのに、旅行業界はその方たちを対象にした企画を提案できていませんでした」

たしかに、旅行代理店の営業所の店頭にあるパンフレットをみると、旅の企画商品といえば、列車か飛行機か、4つのタイヤがついていてもバス。読者にも自動車で旅行に行くひとは多いと思うけれど、旅行代理店のお世話になるとしたら、せいぜい宿泊施設に限られたはず。

**南九州ではレンタカーで  
6200円も安いドライブが**

そんななか、東名、名神、中央道といった高速道路を運営している中日本高速道路がETCの割引きで高速道路の利用者を増やす意向があることを知った新井さん、それに観光を組み合わせる企画を思いついたというわけだ。

「宿泊施設や各地の観光施設の情報はJTBとしての自負があります。最近のお客さまはその土地でしか体験できないことや、そこでしか手に入らない“ホンモノ”を求めていらっしゃる

ます。なので今年の“山梨周遊ドラ旅”では、青木ヶ原樹海ネイチャーガイドツアーなどをオプション設定したりしています」

さらに、クルマでの旅という飛行機で行って現地でレンタカーという場合も。そこでJTBのホームページで「ETC周遊フリーバスin南九州」を3月までの期間限定で発売。自分のETCカードでETC車載器を備えたレンタカーに乗る。連続する土日の2日間、たとえば福岡ICを出発して、宮崎や鹿児島といった周遊エリアを回る旅で、通常なら高速代1万5700円のところ9500円と、6200円もの差額が出る。「クルマでの旅を楽しんでいただくために、今年もいろいろ企画を考えます」

みずからドイツ車に乗りドライブ旅行が趣味という新井さん。春のドライブシーズンを控えて、その企画力はドライバーのたのしい味方と、「ドラ旅」をみて思うのだ。



「山梨」(1月10日～3月22日発)、「南九州」(3月30日まで)や「安比・八幡平スキー場」(3月23日まで)など、「ドラ旅」の商品はさまざま



**7800円が3800円になります!**

ドラ旅「ETCで行く!」らくらくドラ旅山梨はエースJTBのために企画されたもの。東京・高井戸などからの「発着エリア」と、上野原ICから小淵沢ICや、富士五湖道路の須走ICまでの「周遊エリア」からなる。2日間有効でその1往復が3800円(普通車)。通常、高井戸ICから小淵沢ICまで7800円なので割引は大きい。しかも「周遊エリア」内ではインターチェンジの乗り降り自由なので、ドライブで行くひとには嬉しいはず